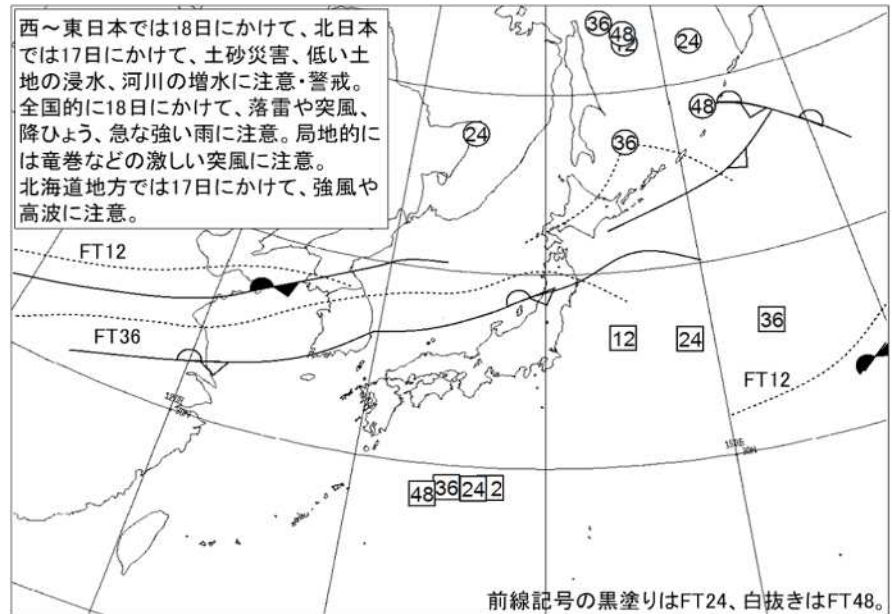


1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5940m付近の高気圧に対応する地上の高気圧が日本の南にあって、ほとんど停滞。高気圧縁辺の下層暖湿気の影響で、南西諸島と西日本では激しい雨を解析。西日本と関東の東では雷を検知。
- ② 低気圧がサハリン付近にあって、東進。低気圧周辺では気圧の傾きが大きくなっており、北海道地方では強い風が吹き、波が高くなっている所がある。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の高気圧は、18日にかけて日本の南にほとんど停滞し本州付近へ張り出す。西～東日本では晴れて気温が上昇し猛暑日となる所がある。熱中症などの健康管理に注意（熱中症警戒アラート参照）。
- ② 500hPa5820m付近の強風軸に対応し、前線が華北から16日夜には日本海中部、17日は北日本へのび、18日は西～東日本を南下する。前線に向かう下層暖湿気と2項①の気温上昇の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った激しい雨が降り大雨となる所がある。西～東日本では18日にかけて、東北地方では17日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風、降ひょうに注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ③ 500hPa5640m付近の強風軸に対応し、低気圧が16日夜までに沿海州付近で発生し、17日は前線を伴ってオホーツク海へ進み前線が北海道地方を通過する。また、500hPa5580m付近の-21℃以下の寒気を伴うトラフが18日に北海道地方を通過する。前線や低気圧に向かう下層暖湿気と上空寒気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った激しい雨が降り大雨となる所がある。北海道地方では17日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、17～18日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ④ 南西諸島では、2項①の高気圧縁辺の下層暖湿気の影響で大気の状態が不安定となり、雷を伴った強い雨や激しい雨の降る所がある。南西諸島では18日にかけて、落雷や突風、急な強い雨に注意。
- ⑤ 1項②や2項③の前線や低気圧周辺では気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹き、波が高くなる所がある。北海道地方では17日にかけて、強風や高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(06時から24時間)：多い所(100mm以上)はない。

② 波浪(明日まで)：北海道3m。

③ 高潮(明日まで)：西～東日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。